

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 大船駅周辺地区 (原案)

平成22年10月

神奈川県鎌倉市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	鎌倉市		地区名	大船駅周辺地区			面積	220ha	
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	2,181.3百万	国費率	0.401			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道068-038号線(大東橋北側)、市道059-009号線(大東橋南側)、市道209-013号線ほか(西口交通広場)、市道209-014号線ほか(新富岡橋交差点)、市道059-003号線・205-031号線・205-023号線・205-038号線(砂押川プロムナード)、市道209-008号線(田園踏切道)、市道059-000号線(あんしん歩行エリア)、市道059-017号線(あんしん歩行エリア)、市道059-021号線(あんしん歩行エリア)、市道059-025号線(あんしん歩行エリア)、市道059-045号線(あんしん歩行エリア)、市道068-000号線(あんしん歩行エリア)、市道059-001号線(あんしん歩行エリア) 【高次都市施設】大船駅西口ペDESTリアンデッキ									
		提案事業	【地域創造支援事業】放置しづらい環境づくり等 【事業活用調査】大船西友前通り(市道059-019号線)社会実験 【まちづくり活動推進事業】松竹通り(市道059-009号線)沿道景観形成誘導									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	①【道路】市道059-043号線(仲通北側道路) ②【道路】市道068-034号線(芸術館周辺南北道路)	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	①【地域創造支援事業】大船駅西口駐輪場整備 ②【地域創造支援事業】岡本一丁目(坂本町)ポンプ場建設事業	①再開発事業の休止に伴う事業延期 ②地権者(民間)による整備完了			①指標2に影響するが目標値は据え置く ②影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	①【道路】市道208-017号線ほか(大和橋交差点)、市道053-009号線(大船駅岡本線) ②【道路】市道205-023号線(あんしん歩行エリア) ③【地域生活基盤施設】岡本一丁目低地排水施設等 ④【バリアフリー環境整備促進事業】鎌倉芸術館エスカレーター	①設計変更に伴い新たに追加 ②警察からの要望に応え新たに追加 ③【地域創造支援事業】岡本一丁目(坂本町)ポンプ場建設事業から移行 ④鎌倉芸術館のバリアフリー化及び利便度向上のため新たに追加			①②④指標3に影響するが目標値は据え置く ③影響なし					
		提案事業	【事業活用調査】事業効果分析調査 【まちづくり活動推進事業】市民参画まちづくり活動支援(まちづくり協議会等の運営)	①事後評価の円滑な推進、今後のまちづくりを検討するため ②市民との協働によるまちづくり活動を検討する機運が高まったため			①②影響なし					
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
	変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	駅乗降客数	千人/日	171	H15	175	H22		187.8	○	あり なし	H24年8月
	指標2	歩行者の交通量	千人/12時間	21	H16	22	H22		26	○	あり なし	-
指標3	市街地環境の満足度	%	19.5	H16	30	H22		33.1	○	あり なし	H24年3月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み			
	その他の数値指標1	道路交通環境に関する満足度	%	9.9	H16				13.7		あり なし	あんしん歩行エリアの整備等により、交通事故数や放置自転車数が減少し、道路利用の快適性や安全性が向上した。
その他の数値指標2												
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉芸術館に設置したエスカレーターは、利用者アンケートでも「安心して歩けるようになった」「施設そのものが利用しやすくなった」との多数のご意見が寄せられている。</li> <li>砂押川プロムナードは、歩道整備や沿道企業や住民のご協力による桜並木の保全活動の支援を実施したことで、美しく心地よい歩行空間が創出されており、住民からも高い評判を受けている。また、桜並木保全活動への参加を機に住民によるまちづくりの機運が高まっている。</li> <li>あんしん歩行エリア整備等により交通事故件数が減少しており、車両側、歩行者側がどちらも交差点の存在と危険性を認識し、慎重に通行できるようになってきたと警察署からも聞かれている。</li> <li>放置自転車対策としてプランターを設置したことで、放置自転車が減少しかつ花のある景観が創出され、沿道店舗からは安心して通行できるようになり、景観も良くなったと評判がよい。</li> </ul>											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし				
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし				
持続的なまちづくり体制の構築	地元住民主体のまちづくり組織の立ち上げを目指す予定であったが、大船駅東口第2地区再開発事業及び大船駅北口第二地区再開発事業が事業休止となったため、組織の立ち上げも延期となった。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後は事業の必要性を踏まえながら、地域の熟意、要望に応えられる体制づくりを進める。				

## 様式2-2 地区の概要

### 大船駅周辺地区(神奈川県鎌倉市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
大船全体の魅力と拠点性を高めていくために、交通結節性と地域の個性を活かし、市民(NPO)、企業、大学、行政の協働により、「活力に溢れ、豊かな生活文化を創造し発信するまち」の実現を図る。 ○商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまちとする。 ○安全、安心で優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまちとする。 ○活力に溢れ、くらしに文化の香りがただようまちとする。	駅乗降客数 単位:千人/1日	171	H15	175	H22	187.8	H22
	歩行者の交通量 単位:千人/12時間	21	H16	22	H22	26	H22
	市街地環境の満足度 単位:%	19.5	H16	30	H22	33.1	H22
	道路交通環境に関する満足度 単位:%	9.9	H16	-	-	13.7	H22

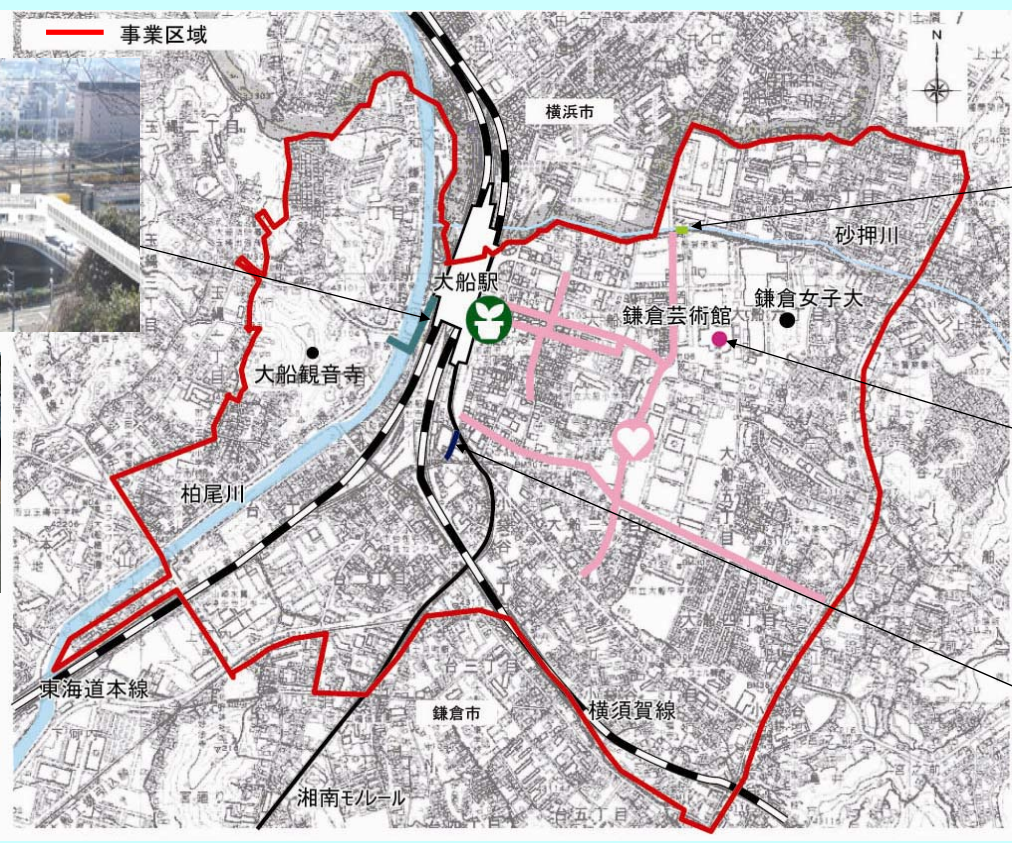
【大船駅西口ペDESTリアンデッキ整備・大船駅西口交通広場整備事業等】  
 大船駅西口からペDESTリアンデッキを通り、直接柏尾川対岸まで行けるようになります。  
 また、あわせて西口駅前広場を安全で分かりやすくリニューアルしています。



【放置しづらい環境づくり等事業】  
 駅周辺にプランターを置き、放置自転車を防止しています。



【あんしん歩行エリア整備事業】  
 交差点をカラー舗装するなど、歩行者の安全性を高めました。



【砂押川プロムナード整備事業】  
 松竹撮影所開設時から愛される砂押川沿いの桜並木を、安全で快適なプロムナードにしました。



【鎌倉芸術館エスカレーター整備事業】  
 鎌倉芸術館にエスカレーターを設置したことで、誰もが利用しやすくなりました。



【市道209-008号線(田園踏切道)整備事業等】  
 交通量の多い道路は、歩道と車道をカラー舗装で分離して、歩行者が安全に通行できるようにしました。

**まちの課題の変化**

- ・大船駅西口ペDESTリアンデッキ等の整備や西口駅前広場のリニューアルにより、駅周辺の回遊性や利便性、快適性が高まった。また、JR大船駅改良工事(駅構内のバリアフリー化、駅ナカ商業施設整備、東西自由通路拡幅等)により、駅の景観や雰囲気向上し、ポテンシャルが高まっている。
- ・放置しづらい環境づくり等により、大船駅周辺の放置自転車が減少し市街地景観がよくなったほか、歩行者が安全に通行できる空間が創出された。また、岡本一丁目低地排水施設等の整備により、道路冠水及び浸水被害が減少し地域の防災力が高まるなど、良好な都市環境に改善されつつある。
- ・鎌倉市大船駅東口第2地区再開発事業及び横浜市大船駅北口第二地区再開発事業が休止したことにより、商業施設の整備が進まず、賑わいの核が不足している。それによりまち全体の景観づくりやまち全体で連携されたバリアフリー化などの方向性が定まらない状態である。
- ・砂押川プロムナードの整備を進めたことにより、住民に愛される親水空間が創出でき、川沿いの桜並木の保全活動などの住民活動の活性化にも寄与している。また、バリアフリー化などの利用者の視点に立った整備により鎌倉芸術館の利用者が増加しているなど、今後もさらなる生活の魅力向上を図っていく必要がある。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・大船駅西口周辺の回遊性を強化するため、大船駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業等により、大船駅西口駅前の交通環境がどのように変化しどのような状況になるのか、単年ではなく継続して検証し、課題を整理した上で検討を進める。
- ・大船駅周辺では、利便性や快適性の向上を図るため、駐輪場を新たに整備することなく放置自転車を減少させる方法をソフト面から検証するほか、周辺事業者等と連携し、イメージアップを図るため、駅及び駅周辺の環境美化推進を進める。
- ・魅力あるまちづくりのため、街の資源を活かし、市民、大学、企業、行政の協働により地域の魅力づくりを進め、発信する。
- ・仲通商店街と共存共栄できるまちの賑わいの核を形成するため、地権者や駅周辺の事業者・事業者等との協議を進め、再開発事業の方向性を明確にする。また、仲通商店街とも連携し、共存共栄できるまちづくりの方策を検討する。
- ・賑わい核と連携し、再開発事業の方向性を見極めつつ、まち全体の景観形成等、住民意見を取り入れながら市街地環境の向上を図るほか、大船駅周辺ではバリアフリー法により定めた基本構想に基づき、特定経路を中心にバリアフリー化、ユニバーサル化を進める。
- ・定住促進につながる住環境を充実させるため、未整備の歩行空間整備など、安全・安心な歩行空間を確保する。また、親水空間の拡大のため、住民、権利者等との協働により砂押川プロムナード計画を見直し、事業化へ向けより現実的な手法を検討する。